

吹田市民営化保育所移管先選定委員会（第6回） 議事要旨

- 1 開催日時
平成30年3月17日（土）午後4時10分～午後6時40分
- 2 開催場所
吹田市役所中層棟4階第4委員会室
- 3 出席委員
9名
- 4 次第
 - (1)開会
 - (2)岸部保育園移管先候補事業者の面接調査
 - (3)岸部保育園移管先候補事業者の最終審査
 - (4)答申（岸部保育園分）
 - (5)閉会
- 5 議事(要旨)

1 開会

委員長： 第6回選定委員会を開催いたします。会議の成立を事務局にお願いいたします。

事務局： 本日の出席委員は9名でございます。委員数の半数以上のご出席を得ておりますので、本日の委員会が成立している旨、ご報告いたします。

2 事業者の面接調査

委員長： それでは、次第2 岸部保育園移管先候補事業者の面接調査について、事務局からの説明を求めます。

事務局： 【資料】について説明

委員長： 面接調査に先立ち、応募事業者の財務状況等について、会計に関して専門的

知識を有する〇〇委員に御説明をお願いします。

委員： 【応募事業者の財務状況等】について説明。

委員長： ありがとうございます。引続いて委員間協議を行います。

(委員間協議)

委員長： 委員間協議が終わりました。これから各事業者の面接調査を行います。

面接調査

(社会福祉法人耀き福祉会入室)

委員長： 社会福祉法人耀き福祉会の企画提案を受けます。

耀き福祉会： 耀き福祉会は、保育園千里山キッズを開園してから6年目になり、本日ちょうど卒園式がありました。0歳で入園された方が卒園を迎えたことになり、一つの節目として感慨深いものがあります。それ以前には認可外の保育所を23年間ほど運営してきました。認可外の保育所にいる子供たちは他の認可保育所が空くと2、3歳で出ていったりします。子供たちの成長を小学校入学まで見届けたいという思いが、耀き福祉会を設立するきっかけになりました。耀き福祉会は、保護者の方や地域の方、職員、園児も含めて温かくて家庭的な雰囲気運営しています。

耀き福祉会を設立して2年目の時に茨木市から声をかけていただき、下穂積保育所の民営化に関わってまいりました。移管後5年間が一つの区切りとなっていますので、最後の1年を迎えるところです。また、2年前には大阪府社会福祉事業団から、多世代交流センターで保育事業をしてもらえないかという声をかけていただきましたので、小規模保育事業とつどいの広場という地域子育て支援拠点事業を行っています。

どの園も暖かい雰囲気を大事にしており、職員の気持ちを大切にしながら職員が辞めない体制作りを心掛けています。また、保育力と人間力を養っていきたいと考えており、職員や保護者の方とのコミュニケーションを日々大切に行っています。

この度、岸部保育園の保護者の方が保育園千里山キッズに来られて、民営化に対する不安を訴えておられました。その気持ちはとてもよく分かりました。

少ないながらも民営化を行った経験がありますので、この経験を活かしながら、不安な気持ちに寄り添っていきたいと思いました。また、変わることが楽しみに思えるような民営化ができるように手助けができたらいいなとも思いました。そして、吹田市の保育行政に少しでも貢献できればそれもうれしいなと思いい、この応募をさせていただきました。

耀き福祉会の保育の特徴はバランスの良い保育です。決して何かを特化することは望んでいません。英語の先生がおりますが、お勉強をするのではなく、朝の挨拶から始まって一緒にご飯を食べたり遊んだりしています。日常の中で刺激を与えてあげたいので、英語やリトミックを取り入れています。また、課外授業ではなく、通常のカリキュラムの中で体育や絵画の先生に来てもらい、様々な経験を積んでもらいながら穏やかに保育を行っています。耀き福祉会は、小規模保育事業を含めて複数の園を運営しており、それぞれの園で環境が異なります。保育園千里山キッズの子供を保育園下穂積キッズにバスで連れて行って、広い園庭を経験させてあげたりしています。また、高齢者施設に行っておじいちゃんやおばあちゃんと交流をさせていただくことで、子供たちの経験も多く積まれていくのだなと思っています。

保育士の確保について申し上げますと、今働いている職員が新しい保育士を紹介してくれることが多いです。少しお休みをしていた保育士を知っていますと言って、声をかけたり誘ってくれたりします。来られた方もしっかりしていますので、最初から安心して一緒に保育をすることができます。そういった点から職員確保に関しては今のところは大丈夫と思っています。保護者の方からはもちろんですが、職員や地域の方からも信頼され、愛される保育所をさらに目指していきたいと思っています。

下穂積保育所を受けた時は、民営化に対する保護者の方の不安の声をたくさん聞かせていただきました。保護者の方から公立のやり方を変えないでくださいって言われた時に、公立の保育って何だろうと残った職員に尋ねたりもしました。一番変えてほしくないと言われたのは、思いっきり歩いて、思いっきり遊ぶことです。英語やリトミックを取れ入れたら勉強みたいになって、遊ぶ時間が減るのではないかという心配の声もありました。ただ、散歩をしたり、よく遊んだりすることはのびのび保育で、私立保育所でもやっていることです。行事も大きく変わりませんし、のびのび保育だったら一緒だなと思いました。公立と私立は何も変わらないと思いますが、概念の違いがありますので、最初は不安な気持ちがあるのは当然だと思います。ただ、下穂積保育所での経験から、保護者の方とたくさんお話をさせていただくことで、不安は小さくなっていくのではないかなと思っています。

これは私の夢ですが、岸部保育園の園舎を建て替えることができたらいいな

と思っています。移管後5年間は大きく変わらないように引継いでいくことは承知していますが、建物を建て替える際の補助金をいつまで出してもらえるか分かりません。5年後や10年後に補助金が出ませんと言われないように、早い時期に素敵な園舎を建てて、広い園庭を地域の方たちにも使っていただけるようにしていきたいなと思っています。こども食堂のような福祉事業もこの地域にあればいいなともっています。

委員長： 社会福祉法人耀き福祉会の企画提案が終わりました。次に質疑応答を行います。

委員： 岸部保育園の申込書類を拝見しました。現状の取組から入ってということですが、具体的にどのようにしていきたいのか少し分かりにくいです。公立保育所の民営化を受けるということは、民間の考え方や活力等の新しい風を入れることも大事だと思います。これまで行ってきた法人の理想の保育もあるでしょうし、移管を受けるとしたらどのような新しい取組をお考えでしょうか。

耀き福祉会： 保育所では給食がとても大事だと思っていますので、給食に関する部分は変えていきたいです。食材は野菜中心でこだわっていますし、食育にも力を入れています。現在の岸部保育園にはスチームコンベクションオーブンが無いので、導入するとともに調理室をきれいにしていきたいと思っています。こんなメニューは食べたことがないとか、給食がすごく美味しかったねと子供たちから言ってもらえたらうれしいです。

人員に関しては、法人全体で看護師が3名いますし管理栄養士もいます。保育士も含めて異動を行い、1年間かけて経験を積んでもらいたいと考えています。また、保育園千里山キッズや保育園下穂積キッズでは安田式の体育を取り入れており、保護者の方から運動能力が高まった気がするとの声をいただいています。保護者の方ともお話のうえ、可能であれば体育と英語は初年度から取り入れていきたいと思っています。

下穂積保育所の民営化を受けた時は、引継ぎを行う経験も無く、話し合いも不十分だった気がします。保護者の方に遠慮して何も変えてはいけないという気持ちが強く、新しい取組を取り入れるのに3年ほどかかりました。岸部保育園を受けることができれば、前回の経験を活かし、話し合いをしながら体育や英語などについて最初から提案できたらいいなと思っています。もちろんのびのびとたくさん遊ぶということも引継いでいきます。

委員： 保育園千里山キッズに比べて、岸部保育園は定員が少し多くなると思います。

保育園下穂積キッズでは多い人数でされていると思いますが、定員が多くなる場合のクラスや保育をどのように展開していくのか教えてください。

耀き福祉会： 岸部保育園の定員は112名です。保育園千里山キッズでは、弾力運用を行っており106名の園児で運営しています。0歳児クラスが12名で1歳児クラスが20名です。幼児の人数は増えていて3～5歳児クラスが各18名くらいです。この幼児の人数が20名を少し超えるというようなイメージを持っています。実際に保育園下穂積キッズがそのようになっていて0歳児クラスが12名、1歳児クラスが22名、2歳児クラスが26名、3～4歳児クラスが各26名です。保育士は、5歳児クラスは加配があって3名、4歳児クラスは2名、3歳児クラスは3名です。岸部保育園を受ける場合には、そのような体制で運営していくのかなと思っています。下穂積保育所の時には人数が多くなって、ダイナミックな感じがしましたが、その時の経験があるので岸部保育園も運営していけるとなっています。

委員： 保育園千里山キッズの5歳児クラスは18名を1人の保育士が担当しています。保育園下穂積キッズや岸部保育園では26名ほどを2人や3人の保育士が担当することになった場合に、同じ法人内でコンセンサスが取れるのか気になります。

耀き福祉会： その点は問題ありません。保育園千里山キッズでは16名を1人で担当したこともありますし、千里山は千里山、下穂積は下穂積という雰囲気で行けるとなっています。

委員： 吹田市が行った監査結果を書類として提出していただいています。茨木市と大阪府からも監査を受けられていると思いますが、特に問題点はありましたか。

耀き福祉会： 茨木市が監査を行った保育園下穂積キッズについては、特に大きな問題点は無かったと思います。日曜日に研修に行った人が書き損じていたなどの細かいチェックもれ程度です。大阪府からは、理事会や評議員会などの組織に関する法人監査を受けましたが、特に大きな指摘は無かったと思います。

委員： 保育園千里山キッズでは連絡帳を使っておらず、園の掲示板を保護者が見て気になることがあれば職員に声をかけるとお聞きしています。ただ、今の岸部保育園では連絡帳を使って職員と保護者がやりとりをしています。また、たま

にクラス便りも発行して保護者への連絡を行っています。連絡帳がなくて、保護者と園とのやり取りが十分にできるのか心配です。今は、職員全体で全ての園児を見ているのかもしれませんが、人数が増えるとそれも困難になってくる気がします。

耀き福祉会： 下穂積保育所は3歳児から5歳児の連絡帳がありました。一方で、保育園千里山キッズでは連絡帳がありません。なぜ無くても何の疑問も起きないのかなと考え、有ったものが無くなったという経験がなく、最初から無いからです。保育園千里山キッズでは、3歳児からは保護者の方と園での色々な出来事をお話しながらコミュニケーションを楽しんでほしいと思っています。連絡帳が無いと不安ですという声はありません。

今まで連絡帳が有るという経験をされている下穂積保育所の保護者の方にとっては、有るものが無くなるという不安が有ったのだろうなと思いました。今も3歳児の最初の頃は連絡帳を使っており、夏頃から保護者の方とお話をし、だんだん無くなっていっていきます。どうしてもという保護者の方には連絡帳を残していますが、ほとんどは見ましたよとだけ書いてもらって判子を押している状態を5歳児まで続けています。下穂積保育所も公立の時代には、保育士が別の業務を行うために、ノーノートデーが週に2回ほどありましたので、連絡帳の有無でそれほど違いはないと思います。

保育園千里山キッズでは、連絡帳が無くても本当に聞きたいことは保育士に聞いていますし、コミュニケーションをしっかりと取る意識につながっていると思います。連絡帳については、有っても無くてもどちらでもいいと思っています。

委員： 今後どのようにしていくのかについては、三者懇談会で話し合っていくと考えていいですか。

耀き福祉会： 連絡帳を大切に思っている保護者の方もいらっしゃると思いますので、お話をしていきたいと思います。大切にしないといけないものは、大切にしていきたいと考えています。

委員： 保育園千里山キッズでは、給食の主食費が1,550円で布団はリース方式と聞いています。また、教材費が毎月かかっているようです。今の岸部保育園の主食費は800円で、シーツは入園時に購入するけれども布団は園が貸してくれます。そして年度末に布団を1回乾燥してもらっており、保護者の負担を軽減してもらっています。教材費は毎月かからず、はさみや粘土などの費用を1回だ

け徴収されて終わりです。

費用負担について異なることが色々ありますが、どのように考えていますか。

耀き福祉会： 現在の費用負担が高くなったり、制服の購入が必要になったりするのではないかという不安があると思います。民営化を引き受ける際には、負担していただく金額を変えてはいけないということは私も承知しておりまして、下穂積保育所の民営化を引き受けた時は一切変えていません。主食費が800円と聞いてかなり安いなと思いましたが、どのようにするのかは相談していく必要があると思います。ただ、民営化した途端に保育園千里山キッズと同じ1,550円を負担してくださいというのはルール違反だと思っています。

保育園千里山キッズでは、子供たちに絵本を好きになってほしいですし、親子で楽しくコミュニケーションを取ってほしいという思いがあります。市販されていない本ですので500円ほどいただいています。画用紙代や色紙代はいただいています。

布団のリースは、保護者の方が抱えて持って帰らなくてもいいように思っ
て行っており任意です。持ち込みをされている保護者の方もいらっしゃいます。1,000円程度かかりますが、リースであれば布団やシーツを洗濯乾燥してもらって、いつでもきれいな状態で使うことができます。

制服もありません。Tシャツだけ購入していただき、大きな行事や保育の時に着用してもらっています。下穂積保育所は、それまでの伝統で染めTシャツを使ってこられたようですので、そのまま引き継いでいます。主食費の金額も変えていません。

保育園下穂積キッズの布団については、毎週土曜日に業者の方に来ていただいて乾燥してもらっています。これは園の保護者会が昭和47年頃から受け継いでいるようですので、民営化後もノータッチで変えておりません。

委員： 市が作成している合同保育の計画では、4月から2人の保育士が参加し、翌年の1月から残りの保育士たちが参加することになっています。ただ、その内容では、公立保育所の保育を引継ぐのが難しいと判断して、予定より早目に保育士が参加するということがされている民営化園の事業者もあるようです。そういったことは検討されていますか。

耀き福祉会： 私も他の民営化園で4月から3人の保育士が参加することは聞いています。必要であればそういった取組を否定するつもりはありませんが、現時点で3人参加させますというよりは、これからの1年で職員たちに高い意識を持って力

量をつけていただきたいと思います。職員の配置も多目にしていますし、今はそのことに努力をしていきたいと思っています。

委員： 申込書類の中で、移管保育所について書いていただく項目があります。そのうち、20項目で「現行の取り組みに加え、公立の現状を学び、さらに充実していく」という記載となっており、具体的なことが書かれていませんでした。もう少し具体的に書いてもらえないと質問のしようがありません。それと、災害対策に関して添付している防災マニュアルは市が作成したものです。市が作成したものを参考にして、自園の現状にアレンジしたものを提出してほしいと思いました。

先ほどの企画提案では、岸部保育園は老朽化しており、早く建物を建て替えたいと言われていました。その際に土地を購入されるのでしょうか。

耀き福祉会： 移管先保育所の記載については、現状以上に頑張りたいという意味で書かせていただきました。

土地の購入については、移管後10年間は様々な条件があると聞いています。ただ、建物を今のまま使い続けるのはかなり大変だと感じています。早い段階で建て替えることができれば、新しい園舎にたくさんの子供たちが通うことができます。子供たちや、夢や希望を持って働きに来てくれる保育士たちを迎え入れる環境は大事だと思います。

また、建物の建て替えは補助金をいただいて行うことが大前提です。これから先も補助金がいただけるのかどうか分かりませんし、いつか行わなければいけないのならば、補助金制度が存在する時期に行いたいと考えています。

委員： 建物を改修するだけと、解体して建て替えるというのでは保育の環境が変わってきますし、保護者の方も気になると思います。長期間の休園になっても困りますし、そういったこともよく考えて対応していただきたい。

耀き福祉会： 現在、保育園下穂積キッズでも建て替えを考えており、保護者の方や地域の方への説明を行っています。あまり不安の声はなくて、楽しみだという声が多いので、岸部保育園でも可能であれば考えてみたいと思っています。

委員： 保育園千里山キッズのある千里山や今回の岸部、保育園下穂積キッズのある茨木市では、それぞれの地域特性があると思います。そのような中、社会福祉法の改正もあり社会福祉法人にはより一層の地域貢献が求められています。子育て支援以外で何か社会貢献を考えておられたら教えてください。

耀き福祉会： 子育て支援については、保育園千里山キッズと保育園下穂積キッズの両園で行っています。近隣の子育て中の保護者の方のために育児教室や育児サークルを行っています。また、園庭開放を行い園の行事にも参加していただいていますので、それは引き続きやっていきたいと思っています。今年はメイシアターで7月に親子コンサートを企画しています。無料ですので、岸部保育園の保護者の方にも楽しんでいただきたいと思います。

子育て支援以外の社会貢献としてはCSW（コミュニティソーシャルワーカー）の活動があります。社会福祉協議会が実施している研修を受けたスマイルサポーターが現在、5名ほど法人に在籍しています。それを活かしながらCSWの活動を行い、大阪しあわせネットワークに参加しております。子育て支援関係のみならず、貧困や様々な問題を抱えているご家庭に対して、一緒に何かができればと考えています。

副委員長： 安全や保健、食事等のマニュアルがありますが、このマニュアルをどのように職員に周知していますか。また、研修の実施状況も教えてください。

耀き福祉会： マニュアルについては、保育士たちがいつも見ることができる状態にしています。保育士だけではなく、看護師や調理員も積極的に食育や感染症の研修に参加しています。そして月1回の職員会議やカリキュラム会議等で研修の報告を行い、職員全体で共有しています。

嘔吐下痢やインフルエンザが流行する時期には、関係機関のアドバイスもいただきながら対応しています。

副委員長： 申込書類に移管後の職員体制が書かれています。具体的な年齢や経験年数を記載している部分がありますが、この方たちは特定の方を想定していて、その方から内諾を得ているのでしょうか。また、どのような方を施設長予定者として考えておられますか。

耀き福祉会： 現在働いている職員が異動した場合を想定しています。自分のことだと分かる職員もいれば、分からない職員もいます。岸部保育園の移管を受けるのであれば、今のままでは保育士が足りませんのでこれから採用していく努力が必要だと思っています。そういった意味では、このような職員構成にしたいという理想も含まれています。

施設長については、私が就任することを想定して記載しています。

副委員長：　ということは、既存の園の職員と移行後の職員の中には重なっている方もいるということですね。岸部保育園に職員を異動することによって、既存の園の職員体制が手薄になる可能性もあります。その点はどのようにお考えですか。

耀き福祉会：　下穂積保育所を受けた時には、臨時雇用員の方が多く残ってくださったこともあり、保育士が足りなくなるということはありませんでした。岸部保育園についても、同じように考えています。

委員長：　2018年4月から学生数が減っていきますので、これまでの経験は参考にならないというくらいの気持ちで人材確保の努力をお願いします。

また、職員には様々な研修を受けて実力をつけていってほしいですが、現在、キャリアパスの考え方が出てきていますので、キャリアパスを踏まえて給与を上げていくような運営をしていただきたいと思います。

あと申し上げたいのは色覚障がいに対する保育です。障がい児保育に対する対応は進んできていますが、色覚障がいについてはほとんど言われていません。保育現場でも3歳児以上になれば、色覚障がいが分かってきますが、公立も含めて何の対応もできていないのが現実です。そういった子供たちに対しても注意を払って、何らかの対応を考えてほしいというのが今後の課題だと思っています。

委員：　建物の建て替えのお話がありましたが、提出していただいた運営収支計画書に積立金等の記載をしていますか。

耀き福祉会：　今回提出した書類には記載していません。

委員：　先ほど下穂積保育所の臨時雇用員の方が多く残ってくれたとお聞きしました。賃金の額について配慮をした等、何か特別なことをされたのでしょうか。

耀き福祉会：　下穂積保育所の時より賃金は下がったと思います。お金の問題ではなく、働きやすい園を作っていきたいとお伝えし、一緒に働きたいという気持ちになっていただけたのかなと思います。

委員：　他の民営化園では臨時雇用員に残ってもらうために色々な議論があったと聞いています。賃金の額は他の園で働いている臨時雇用員の金額とバランスを取らなければいけないとか、土曜日の勤務をどうするのかとか。

様々な課題がありますが、正規職員がいなくなる中で、臨時雇用員の方にはたくさん残ってほしいというのが保護者の思いです。できるだけ努力をしてほしいと思っています。

耀き福祉会： 賃金の額次第で残るかどうかが考えますと言われるのかは、実際に職員さんとお話をしていないので分かりませんが、下穂積保育所の際は正職員になれるということで喜ばれる方もいらっしゃいました。できるだけ努力はしたいと思っています。

委員： 運動会や芋掘り、生活発表会等の年間行事はどちらの園でも行っているのですが、名前や細かい内容について、今後の2年間で話し合いながら引継いでいけると思っています。

ただ、初夏のどろんこフェスティバルや正月明けの絵画展などは、保育園千里山キッズでは行っていないと思います。こういった行事についても、現行を引継ぐということで今まで通りやっていただけるのでしょうか。

また、岸部保育園と異なり、保育園千里山キッズでは0歳児が運動会に参加していません。芋掘りは0～2歳児が参加していません。参加していない園児がいる理由と、それに代わるような取組をされているのであれば教えてください。

耀き福祉会： お芋掘りに関しては、3～5歳児が長靴を履き、袋とシャベルを持って近隣の芋掘り農園に行っています。また、園の中にも小さい小山を作ってお芋を植えており、豊作の時には0歳児もお芋を触ったりしています。焼き芋パーティーはしていませんが、調理室で調理したものを見て、みんなが掘ったお芋だねとお話しをしたり、家に持って帰ってもらったりしています。お正月明けには、1週間ほどかけてお正月遊びをしています。

運動会は公立の千里新田幼稚園の園庭を借りて行っています。1年目は0歳児も参加していましたが、0歳児が外まで出かけて行って参加することに意味があるのかなと思いましたが、それ以降は参加していません。

逆に、保育園下穂積キッズではこれまで0歳児と1歳児が参加していなかったのですが、今年は参加してもらいました。色々なことを考えながら柔軟に対応していき、一番いい方法を選択していきたいと思っています。

委員： 岸部保育園の園庭は広いので、他の場所を借りて運動会をすることはないと考えます。ただ、建物を建て替えるならば、仮園舎を園庭に建てたりする必要があるのですが、その年の運動会はどうなりますか。

耀き福祉会： 保育園千里山キッズでは、運動会をするのなら千里新田小学校の校庭を使ってくださいと言っていただきました。実際には少し広すぎるので、千里新田幼稚園の園庭をお借りしています。岸部保育園でも1年だけ近隣の小学校にお願いできたらと思っています。保育園下穂積キッズも園庭は広いですが、建て替えの時には近隣の小学校にお願いしたいと思います。

委員長： 時間になりましたので、社会福祉法人耀き福祉会の面接調査を終了いたします。耀き福祉会のみなさん、本日はありがとうございました。面接調査の後、最終審査を実施いたしますので、結果については後日ご報告いたします。

(社会福祉法人耀き福祉会退室)

委員長： 全ての事業者の面接調査が終わりました。引続いて委員間協議を行います。

(委員間協議)

委員長： 委員間協議が終わりました。これより最終審査を行います。

3 事業者の最終審査

委員長： 事務局から最終審査の集計結果を報告願います。

事務局： 集計結果を報告いたします。

お手元に配布しました最終審査集計表を御確認ください。

最終審査集計表によりますと、社会福祉法人耀き福祉会は9名中9名の委員が120点以上の採点をしていますので、過半数の委員が120点以上の採点しております。

委員長： では、この採点結果を踏まえて、選定委員会としては、社会福祉法人耀き福祉会を移管先候補事業者に選定したいと思います。

4 答申

事務局： 【答申書（案）を各委員に配付】

委員長： 本委員会は、岸部保育園及び西山田保育園の移管先の選定について諮問をいただいておりますが、今回は岸部保育園の移管先の選定について答申を行います。事務局から答申書（案）が配布されました。この答申書（案）について、何か各委員のみなさんから御意見等はございますか。

（意見なし）

委員長： では、この答申書（案）を本委員会の答申書として決定いたしたいと思いますが、御異議ありませんか。

（異議なし）

委員長： 御異議なしと認め、この答申書（案）を本委員会の答申書として決定いたします。この答申につきましては、本委員会から市長に行うこととなりますが、本日市長は公務とお聞きしております。したがって、市を代表して児童部長に私から答申書をお渡しすることといたします。

（委員長による答申）

児童部長： 答申をいただきました。この答申結果を市長に報告した後、市が正式に事業者の決定をさせていただきます。今後は園児や保護者の皆様に配慮しながら、円滑に引継ぎを進めてまいります。委員の皆様におかれましては、公私御多忙の中、熱心に御議論いただきありがとうございました。

5 閉会

委員長： 以上をもちまして、本委員会を閉会いたします。委員の皆様からは、貴重な御意見をいただき、有意義な議論を行うことができたと思っています。お忙しい中、選定委員会に御参加いただきましたこと、私のほうからも重ねてお礼申し上げます。

吹田市におかれましては、答申の趣旨を尊重し、岸部保育園の円滑な移管に向けて御尽力いただきたいと思います。